

## 高等学校における「通級による指導」がスタート

—高等学校における多様な学びの場を求めて—

今年度からいよいよ高等学校において「通級による指導」が始まりました。熊本県では湧心館高校全日制、松橋高校、菊池農業高校の3校で実施しています。今回は3校での取組の様子や感想について報告します。



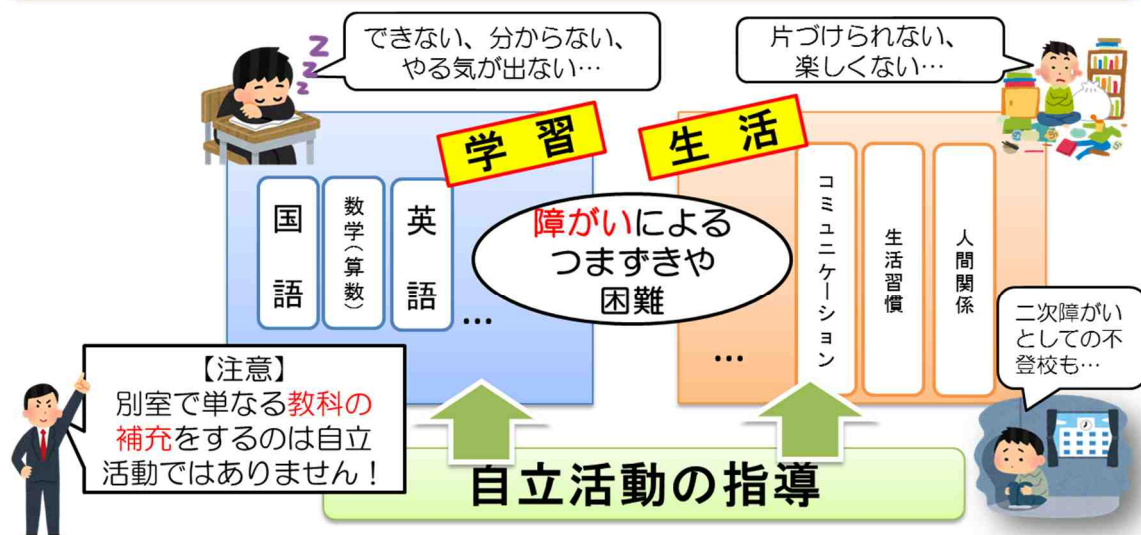
「通級による指導」とはどんなものなの？

特別支援教育における教育形態の一つで、ほとんどの授業を在籍するクラスで受けながら、一部の授業を特別の場（通級指導教室）で受けるものです。また、「通級による指導」では、障がいによる学習上または生活上の困難の改善・克服を目的とするため、特別支援学校学習指導要領にある『自立活動』の指導を行います。



ところで、自立活動とはどんなものなの？

障がいによる学習上または生活の上の困難を改善・克服する力を身に付けるための学習で、例えば、コミュニケーションが苦手な場合には、場に応じた挨拶の仕方を学んだり、気持ちのコントロールが難しい場合には、アンガーマネジメント（イライラする気持ちの調節の仕方）について学んだりします。



自立活動のイメージ図



通級による指導のねらい

このように自立活動を通じて、普段の授業の理解が進んだり、学級活動・部活動等における人間関係が円滑になる等、より充実した学校生活を送ることができるようになることが期待されています。



「通級による指導」は誰が担当しているの？

下図にあるように、各高校の先生が「通級による指導」を担当しています。また、アドバイザーとして特別支援学校職員が巡回相談という形でサポートしています。



**自校通級(実施校)のイメージ**



「通級による指導」ではどんなことをやるの？

下表のように、個別、ペア、グループと各校の実施方法は様々です。内容も生徒の実態に応じて工夫しています。



湧心館高校（全日制）	松橋高校	菊池農業高校
<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別やペア学習で実施</li> <li>○3年生は卒業後の生活を見据えた掃除・洗濯等の生活スキルやATMの使い方などの社会スキル学習などを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年ごとに個別もしくはペアで実施</li> <li>○チェックシート等による自己理解、短所を長所に捉えなおすリフレーミングなどを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループ学習で実施</li> <li>○自分の感情をコントロールするためのストレスマネジメントや対人関係を円滑にする社会スキル学習を実施</li> </ul>



**インタビュー(皆さんの声)**

**生徒たちの声**

「楽しい。」  
 「以前と、考える視点が変わったと思います。」  
 「授業ではなかなか教わらない社会のことを知ることができてよかった。」  
 「これから話す力をもっと身につけていきたいです。」  
 「前は友だちができるか不安だったけど、自立活動を受けて、友だちもいっぱいできたので、本当に来てよかったと思います。」

**保護者の声**

「自分の苦手なことに気が見られます。（中学校のころとは変化しています。）」  
 「成長していていると思います。」  
 「いつも子供の相談に乗ってくれている先生が、自立活動の担当なので、安心です。」  
 「毎日学校に通うことができていますので、とても嬉しく思っています。」

「授業を楽しみにしている様子で、今日の授業（自立活動）で、何があるのかを前もって聞きに来ることがよくあります。」  
 「（自立活動の授業を参観して）教室では、聞かれない発言がありました。」  
 「自分のクラスの生徒との関わり方のヒントを得ることができました。」

**先生の声**

自立活動の時間は楽しみ。  
 コミュニケーションも少しずつ自信が持てるようになりました。

